

Bone Scan Index (BSI) を用いたストロンチウムの有効性評価に関する検討

研究対象：

2009年1月1日より2013年12月31日の期間に国立がん研究センター東病院でストロンチウムの投与を受けた患者さんを対象とします。

研究の意義：

現在、骨転移に対する全身放射線治療としてストロンチウムが使用されていますが、その治療がどの程度有効であったかを評価する客観的指標はまだ確立していないのが現状です。一方、BSI は骨シンチにおける異常集積を定量化したものでありストロンチウムの治療を行った患者さんについて、その除痛効果や経過と BSI の変化の関係を検討することにより、骨病変への治療効果の客観的指標の確立に大きく貢献する可能性があります。

目的：

骨転移を有する固形がんにおいて、新しい画像評価モダリティであるBSIと、ストロンチウムの治療効果との相関について探索的に検討します。

方法：

2009年1月1日より2013年12月31日の間に骨転移に対してストロンチウムの治療を行った患者さんを対象とし、患者基本情報（年齢、性別、病変部位、病理結果、併存症）、治療内容、血液検査値なども含む診療情報、治療効果、経過について診療録をもとに後方視的調査を行います。

個人情報保護に関する配慮：

閲覧する診療録には個人情報が含まれますが、患者さん個人が特定されないやり方で情報を収集します。対象となる患者さんの識別は本研究専用で別途割り振られた研究番号を使って管理し、個人情報が出ることはありません。患者さん等からのご希望があれば、その方のデータは研究に利用しないようにしますので、いつでも次の連絡先まで申して出てください。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

〒277-8577 千葉県柏市柏の葉6-5-1

国立がん研究センター東病院 乳腺・腫瘍内科 佐々木政興

FAX 04-7131-4724/TEL 04-7133-1111